

2022年3月11日

木材業景況調査結果

第450回（令和4年2月分）

（一社）全国木材組合連合会

全国木材協同組合連合会

迅速！簡潔！明快！
全国モニターで調査する
唯一の全国版景況調査
この調査は日本木青連のご協力を得て、
行っています

2月は、販売量・仕入量については、流通部門・製造部門とも変わらなかった。販売価格については、流通部門では上昇、製造部門で変わらなかった。仕入価格については、流通部門・製造部門とも上昇した。

3月は、販売量については、流通部門では変わらず、製造部門では増加の見通し、仕入量については、流通部門・製造部門とも増加の見通しとなった。また、販売価格については、流通部門・製造部門とも保ち合いの見通し、仕入価格については、流通部門・製造部門とも強含みの見通しである。

3ヵ月後の相場予想は、米材、北洋材（欧州材を含む）、国産材については、流通部門・製造部門とも強含み予想となった。また、建材も強含み予想である。今回もすべての部門で強含み予想となっている。

引き続き合板不足は深刻である。一方、プレカット工場では人手不足が顕在化しており、副資材高騰もあって工場のコストは上がっている。さらに、配送運賃についても、運転手不足と燃料の高騰でコストアップとなっており、ロシア材の認証停止、輸出禁止措置等海外情勢の不透明化もあって今後の動きが懸念される。

景況調査

令和4年2月分集計表 () 内は実数

モニター数131 回答89 回収率68%

〔流通部門〕

当月の状況

販売量	増加25% (22)	変わらず49% (44)	減少26% (23)
仕入量	増加25% (22)	変わらず51% (45)	減少25% (22)
販売価格	上昇33% (29)	変わらず62% (55)	下降 6% (5)
仕入価格	上昇39% (35)	変わらず55% (49)	下降 6% (5)

来月の見通し

販売量	増加19% (17)	変わらず73% (65)	減少 8% (7)
仕入量	増加21% (19)	変わらず69% (61)	減少10% (9)
販売価格	強含み24% (21)	保ち合い70% (62)	弱含み 7% (6)
仕入価格	強含み29% (26)	保ち合い65% (58)	弱含み 6% (5)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	49% (32)	38% (25)	12% (8)
南洋材	44% (25)	49% (28)	7% (4)
北洋材(欧州材を含む)	48% (30)	41% (26)	11% (7)
国産材	27% (23)	62% (52)	11% (9)
建 材	56% (35)	37% (23)	6% (4)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	21% (13)	58% (36)	21% (13)

〔製造部門〕

モニター数126 回答数94 回収率75%

当月の状況

販売量	増加20% (19)	変わらず60% (56)	減少20% (19)
仕入量	増加20% (19)	変わらず64% (60)	減少16% (15)
販売価格	上昇11% (10)	変わらず84% (79)	下降 5% (5)
仕入価格	上昇29% (27)	変わらず65% (61)	下降 6% (6)

来月の見通し

販売量	増加34% (32)	変わらず60% (56)	減少 6% (6)
仕入量	増加33% (31)	変わらず61% (57)	減少 6% (6)
販売価格	強含み15% (14)	保ち合い77% (72)	弱含み 8% (7)
仕入価格	強含み25% (23)	保ち合い69% (64)	弱含み 6% (6)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	58% (19)	33% (11)	9% (3)
南洋材	48% (12)	44% (11)	8% (2)
北洋材(欧州材を含む)	37% (11)	57% (17)	7% (2)
国産材	39% (34)	47% (41)	14% (12)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	35% (13)	49% (18)	16% (6)